

令和5年度1月日田市実施分学力調査の結果について

1 調査の概要

(1) 実施期日

令和6年1月12日（金）

(2) 調査対象学年

小学校全学年 中学校1・2年生

(3) 調査内容と受験者数

【小学校】

	国語	社会	算数	理科
1年	455		455	
2年	466		467	
3年	464		465	
4年	442	442	442	442
5年	502	502	502	503
6年	497	498	497	498

(単位：人)

【中学校】

	国語	社会	数学	理科	英語
1年	547	548	547	548	548
2年	459	456	458	455	457

(単位：人)

(4) 用語の説明

◇正答率：全設問に対して児童生徒が正答した割合（集団の場合は平均値）

◇目標値：正答できることを期待した児童生徒の割合（期待正答率）

◇全国比：全国の平均正答率を100とみたときの日田市の割合

◇標準スコア（偏差値）：全国の正答率を50とみたときの日田市の平均正答率の換算値

2 令和5年度調査結果の概要

【小学校】 ※「正答率」の色付き部分は「目標値」以上
 「標準スコア」の色付き部分は全国値以上

学年	1年生		2年生		3年生		4年生			
教科	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	社会	算数	理科
目標値 (%)	73.7	77.0	75.0	85.3	67.6	67.7	63.8	56.7	64.2	63.1
正答率 (%)	77.7	83.2	82.6	78.2	67.0	74.0	68.4	57.2	70.8	64.6
R5標準スコア	51	53	52	52	49	52	52	51	53	49

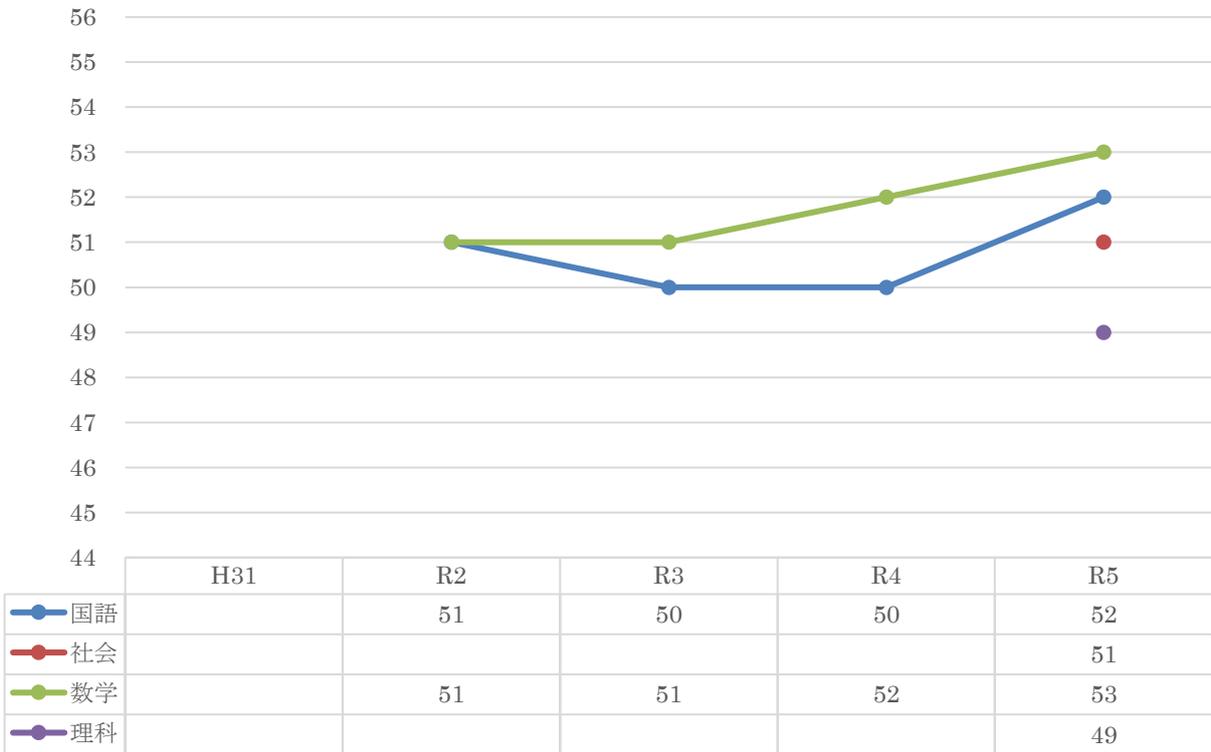
学年	5年生				6年生			
教科	国語	社会	算数	理科	国語	社会	算数	理科
目標値 (%)	68.3	66.2	60.6	63.8	64.0	61.3	71.1	66.3
正答率 (%)	75.2	62.8	64.9	64.7	67.0	59.0	77.6	67.0
R5標準スコア	53	48	53	49	50	49	52	49

【中学校】 ※「正答率」の色付き部分は「目標値」以上
 「標準スコア」の色付き部分は全国値以上

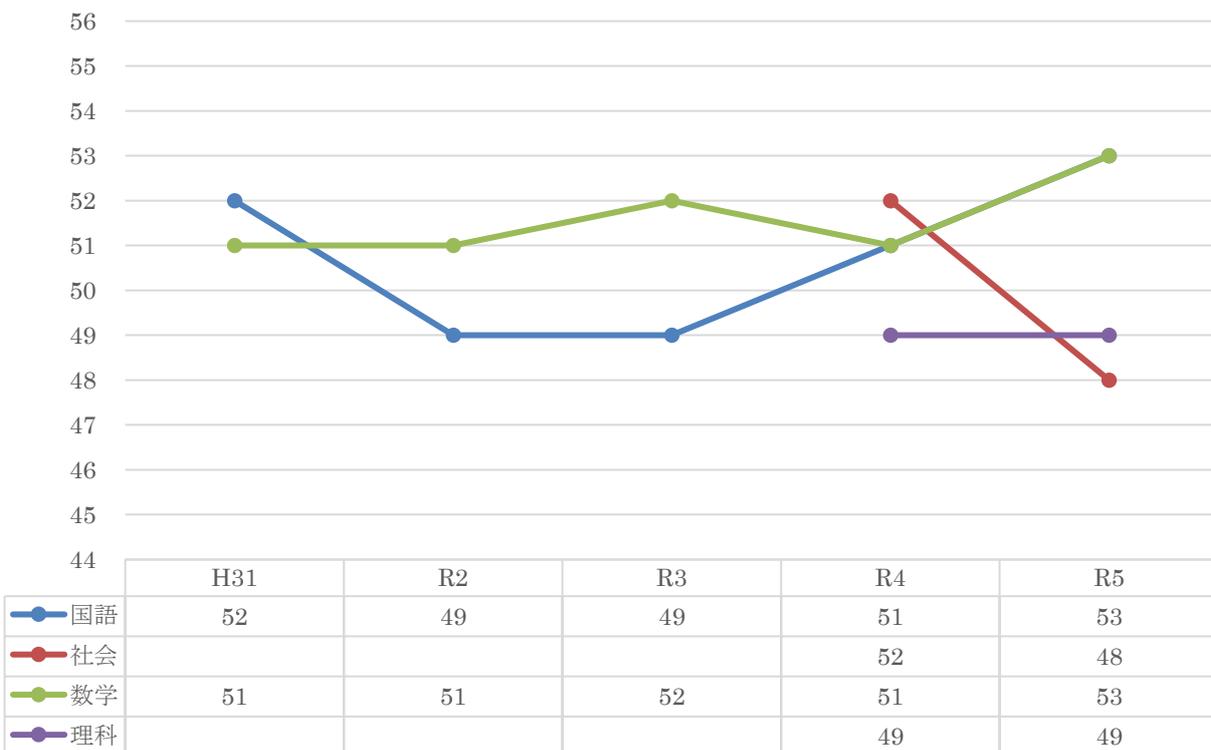
学年	1年生					2年生				
教科	国語	社会	数学	理科	英語	国語	社会	数学	理科	英語
目標値 (%)	57.3	58.3	56.4	60.5	54.4	63.5	46.0	52.8	55.7	50.2
正答率 (%)	63.1	59.1	54.5	58.8	49.1	65.9	43.4	41.7	50.5	37.6
R5標準スコア	51	50	50	49	47	49	49	47	48	44

3 標準スコアの推移（同一集団経年比較）

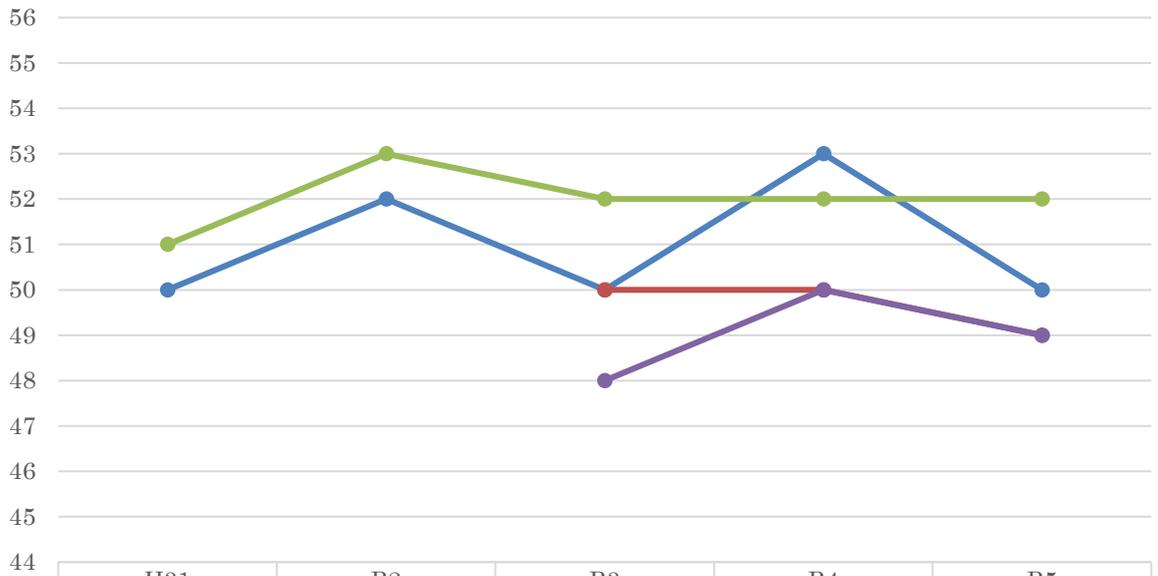
小学校4年生



小学校5年生

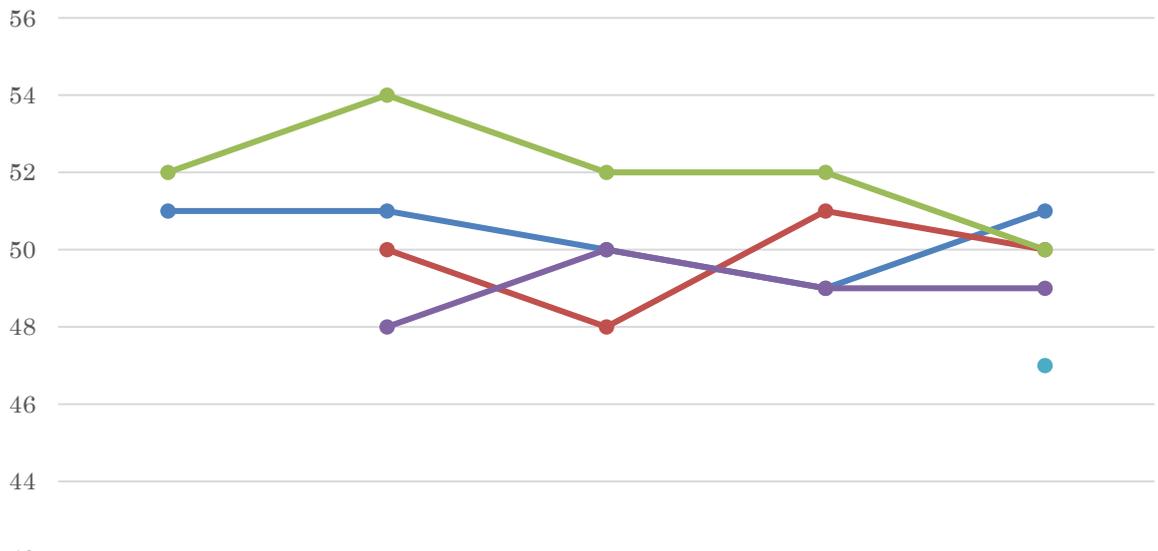


小学校6年生



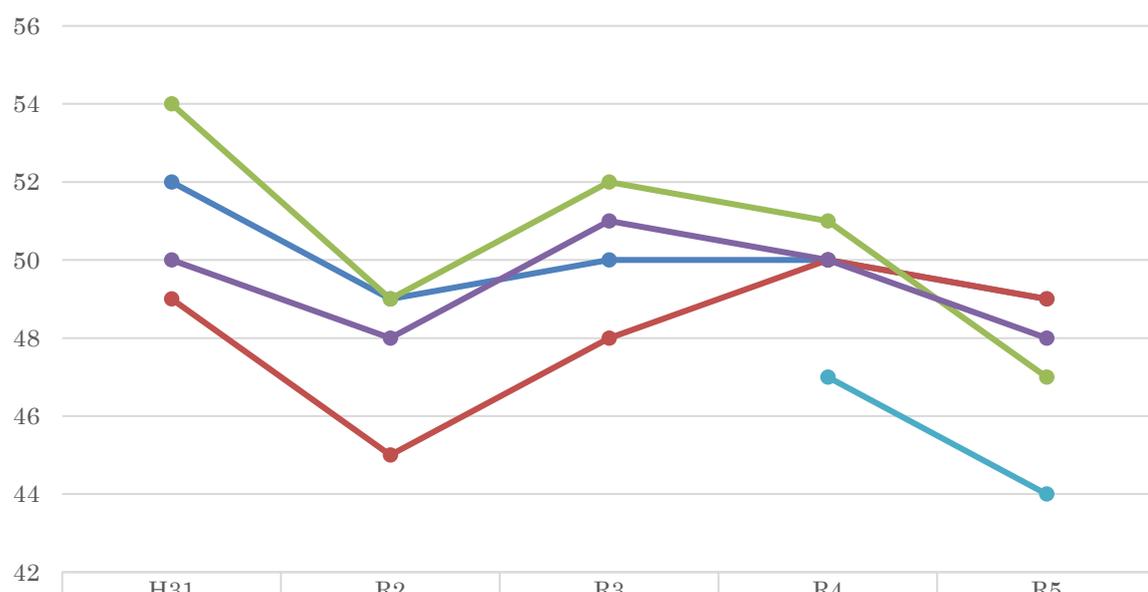
	H31	R2	R3	R4	R5
国語	50	52	50	53	50
社会			50	50	49
数学	51	53	52	52	52
理科			48	50	49

中学校1年生



	H31	R2	R3	R4	R5
国語	51	51	50	49	51
社会		50	48	51	50
数学	52	54	52	52	50
理科		48	50	49	49
英語					47

中学校2年生



	H31	R2	R3	R4	R5
国語	52	49	50	50	49
社会	49	45	48	50	49
数学	54	49	52	51	47
理科	50	48	51	50	48
英語				47	44

4 現状と分析

【小学校】

<現状>

(1) 結果

- 標準スコアは、〔1年国語・算数〕〔2年国語・算数〕〔3年算数〕〔4年国語・社会・算数〕〔5年国語・算数〕〔6年国語・算数〕で全国値以上。
- 平均正答率は、〔1年国語・算数〕〔2年国語・算数〕〔3年算数〕〔4年国語・社会・算数〕〔5年国語・算数〕〔6年国語・算数〕で全国値以上。
- 目標値は、〔3年国語〕〔5年社会〕〔6年社会〕を除く全ての教科で上回った。

(2) 成果・課題の見られた問題内容

	教科	成果	課題
1年	国語	◎言葉の学習 ◎文章を書く	
	算数	◎20までの数 ◎たし算 ◎ひき算 ◎3つの数の計算	▼長さ・かさ
2年	国語	◎文章を書く ◎漢字を書く ◎物語文の読み取り	▼漢字の筆順
	算数	◎時ごとと時間 ◎たし算 ◎ひき算 ◎かけ算	
3年	国語	◎文章を書く ◎国語辞典の使い方	▼説明文の内容を読み取る
	算数	◎10000より大きい数 ◎わり算 ◎長さ	
4年	国語	◎文章を書く	▼調べて分かったことを発表する
	社会	◎自然災害からくらしを守る一地震	▼くらしをささえる水 ▼伝統や文化
	算数	◎小数 ◎わり算 ◎億と兆、がい数の表し方	▼折れ線グラフ
	理科	◎天気の様子と気温	▼電気のはたらき
5年	国語	◎話し合いの内容を読み取る ◎漢字を書く ◎ポスターを作る ◎文章を書く	▼説明文の内容を読み取る
	社会	◎高い土地のくらし ◎寒い土地のくらし ◎日本の水産業	▼日本の工業生産 ▼自動車をつくる工業
	算数	◎分数と小数 ◎小数のかけ算・わり算 ◎図形の角	▼単位量あたりの大きさ、比例
	理科	◎流れる水のはたらき	▼天気の変化
6年	国語	◎文章を書く	▼漢字を書く ▼説明文の内容を読み取る
	社会	◎江戸幕府	▼武士の世の中 ▼戦国の世の中
	算数	◎分数のかけ算・わり算 ◎文字と式 ◎面積と体積 ◎対称な形 ◎拡大図と縮図	
	理科		▼生物とかんきょう

<分析>

- 全学年おおむね12月までの学習内容の定着ができています。
- 国語は全学年で「文章を書く」が全国平均を上回っており、授業中での書く機会の保障、日記や作文等、日々の指導の成果が見られる。
- 全国平均を下回った5年社会、6年社会では、大きく目標値を下回った問題はなかったが、基礎的な内容の定着状況がやや低い。
- 算数は全学年で全国平均を上回っており、1時間で付けたい力を明確に持ったうえでの授業が実践されている成果と捉えられる。
- 全国平均を下回った4年の理科では簡易電流計のつなぎ方を答える問題での正答率が10%程度

- だったことから、実験器具の用途や使用方法についての定着状況がやや低いことが推測される。
- 日田市においては、4, 5, 6年の理科、5, 6年の社会に課題が見られる。
- 近年、教科によっては高学年に下降傾向が見られるようになってきた。

【中学校】

<現状>

(1) 結果

- 標準スコアは、〔1年国語・社会・数学〕で全国値以上。
- 平均正答率は、〔1年国語・社会・数学〕で全国値以上。
- 目標値は、〔1年国語・社会〕〔2年国語〕で上回った。

(2) 成果・課題の見られた問題内容

	教科	成果	課題
1年	国語	◎話し合いの内容を聞き取る ◎文法・語句に関する事項 (文節・単語・歴史的仮名遣い・ことわざ) ◎文学的な文章の内容を読み取る ◎文章を書く	
	社会	◎すべての問題において、ほぼ目標値と同等程度	
	数学		▼1次方程式 ▼比例・反比例
	理科	◎光の性質	▼水溶液の性質 ▼物質の状態変化
	英語	◎リスニング (内容理解)	▼リスニング (対話文の応答) ▼単語の並び替えによる英作文 ▼場面に応じて書く英作文 ▼3文以上の英作文
2年	国語	◎文章を書く	
	社会		▼江戸時代
	数学		▼連立方程式
	理科		▼化学変化 ▼化学変化と物質の質量 ▼動物のからだのつくりとはたらき
	英語		▼リスニング ▼長文の読み取り ▼単語の並び替えによる英作文

<分析>

- 国語は6年連続で1年生の標準スコアが全国平均を上回っており、安定した状況が続いている。1年生、2年生ともに文章を書く力が定着している。
- 2年生の社会では、「基礎」の標準スコアがほぼ50である。
- 2年生の数学では「基礎」、「知識・技能」において標準スコアが50を大きく下回っている。。
- 1年生、2年生ともに理科のすべての観点で標準スコアが50を下回っている。
- 1, 2年生ともに英語の「基礎」「活用」や3つの観点のすべての項目で標準スコアが50を下回っていることから、授業においては「聞く」「読む」「話す (やり取り)」「話す (発表)」「書く」の4技能5領域をバランスよく配置した単元構想及び授業改善が必要である。

5 今後の取組

(1) 当該学年での学習内容の年度内での確実な定着を図るための取組

- 各学校は「市学力調査結果の分析による具体的改善策」を作成し、改善策（授業改善・補充学習・家庭学習）に基づき、年度内に定着が不十分な単元や領域について補充の学習を行う。
- A I ドリル、フォローアップシート、問題データベース（中学校）を活用し、個に応じた補充学習を効果的に行う。
- 補充した力が身に付いているかの検証や改善のために、全国調査の過去問等を活用する。
- 春休みの宿題については、各学年の一通りの学習内容と併せて、各種学力調査（全国・県・市）結果の課題における年度末までの改善が十分でない学習内容について課す。

(2) 令和5年度日田市学力向上の取組（R5.4月作成）の継続

【学習指導要領に示す資質・能力の確実な育成】

（特に重点的に行うこと）

- 主体的・対話的で深い学びの実現
 - ・単元構想による付きたい力を明確にした授業の実現に向けた組織的な授業改善の推進
 - ・ICTを効果的に活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現
- 1人1台端末の持ち帰りによる家庭学習の充実
 - ・A I ドリルの効果的な活用

【学習定着状況の確実な把握】

- 授業と連動した家庭学習・テスト（評価）の実施による、学習内容の定着および定着状況の把握・フォロー

【補充学習】

- 付きたい力の定着・向上に効果的な補充学習および個別指導の実施